

和牛維新！宮崎牛の更なる飛躍のために

平成22年新春和牛懇談会を開催！

2010年1月5日、宮崎観光ホテルにおいて、社団法人全国和牛登録協会宮崎県支部主催の平成22年新春和牛懇談会を開催し、和牛生産並びに和牛改良に携わる県内の技術者約60名が集いました。

今期懇談会は、新春を迎えるにあたり、厳しい生産環境が続く中で、今一度、愛牛を見つめ、農家の皆様の声を心に刻み、宮崎牛に携わる関係者が大同団結して宮崎牛づくりに邁進していくことを目的に開催しました。

懇談会では、県支部の評議員で西諸県郡市和牛振興会長である 原田道明 氏と、JA宮崎中央の元技術員でJA宮崎中央肥育牛部会長である 山元正人 氏のお二方から講演を賜りました。

〔 生業とする和牛経営への想い 〕

最初に、原田道明会長が『生業とする和牛経営への想い』と題して、開墾に始まった生地（高原町旭台地区）での厳しい幼少期の体験談を始め、青年期に『全国肉用牛経営コンクール』で志に共感する方々と出会い、優良な事例を目の当たりにできたことなど、100頭規模の肉用牛経営の道をめざすきっかけを掴んだエピソード等について話して頂きました。



また、西諸県郡市和牛振興会の取り組みとして、平成20年12月期から子牛売却1頭につき牛肉消費券を購入する活動に着手し、管内の肥育農家（平成21年1月期から肥育牛出荷1頭につき牛肉消費券を購入）や関係団体と共にこの1年の間に約2200万円もの牛肉消費券を購入するなど積極的な牛肉消費拡大の活動報告もありました。

更に、原田会長は、何としても西諸県郡市から『茂福』号に続く種雄牛（全国の購買者が注目する種雄牛）を早期に造成したいという想いで、『西諸県郡市種雄牛造成プロジェクト』を提案され、事業推進に必要な基金の造成には子牛生産者自らが資金を拠出していくことを基本に、行政、関係団体と一体となって事業に取り組んでいく決意を話されました。

講演の最後に、「牛のおかげ、家族のおかげ、人のおかげで今の肉用牛経営がある」と感謝の気持ちを述べられ、「これからもその時々目標を持ち、目標に向かって歩み続けたい」という力強い言葉は多くの共感を呼びました。

〔 肥育部会長としての想い 〕

続いて、山元正人会長が『肥育部会長としての想い』と題し、飼料価格や各種生産資材の高騰や枝肉価格の長期低迷を背景とした厳しい肥育農家経営の胸の内を切々と話されました。そして、「このような状況の中で肥育牛経営と向き合い、肥育牛部会員（自分）が『今できることは何なのか、今、しなけ

ればならないことは何か』考え、何か行動を起こすことが必要である。」肥育牛部会長としての務めを果たすべく、「今、宮崎県民に宮崎牛の味がどれだけ伝わっているか、JA宮崎中央肥育部会会員が手塩にかけ育てた宮崎牛をいかに消費者に食べてもらうか、一人でも多くの消費者に宮崎牛、宮崎和牛の味を知っていただく努力をすることが重要である。」

「今、肥育農家ができること、それは肥育農家の想いを胸に、自らが宮崎牛販売の先頭に立って、肉を食する消費者（姿）を観、消費者の声を聴き、消費者と対話を重ね、牛肉を販売していくことである。」と、宮崎牛づくりにかけるJA宮崎中央肥育部会長の想いを話されました。

最後に、宮崎牛ブランドづくりが叫ばれて、既に20年が過ぎた今、宮崎牛がめざすモノ、宮崎牛に求めるコトをしっかりと指標に示し、その内容を十分反映したインパクトのある新たな定義づけを行おうと、『宮崎牛の定義』の再構築に向け提言され、「更なる宮崎牛飛躍のために『今できることは、すぐに行動に移そう』」と力強く話されました。

〔 パネルディスカッション 〕

講演の後、『和牛維新!宮崎牛の更なる飛躍のために』をテーマにパネルディスカッションを行いました。パネラーとして、西諸県郡市畜産販売農業協同組合連合会の 谷之木信弘 参事、はまゆう農業協同組合の 中山満彦 部長、社団法人宮崎県家畜改良事業団の 吉牟田健一 次長、そして、社団法人全国和牛登録協会宮崎県支部から 柳橋真 次長が登壇しました。

昔から、『牛づくりは 人づくり』と言われているとおり、宮崎牛の更なる飛躍のために『人づくり』は最も大切な事柄と言えます。



今回、『農家の皆さんから更に信頼される技術員であるために』『農家の皆さんから更に信頼される技術員を育てるために』『今後、更に求められる牛づくり』『宮崎牛の消費を伸ばすための人づくり』の4つをサブテーマに事例等を紹介しながら、技術員としてどうあるべきかを論じて頂きました。

〔 紹介事例 〕

- ・ 第55回宮崎県畜産共進会で必勝を期して必死に取り組む西諸県地域の技術員と地元農家の様子
- ・ 西諸県郡市種雄牛造成プロジェクト活動の様子
- ・ 伝統ある南那珂郡市肉用牛改良検討会（23年経過）でのエピソード
- ・ 南那珂郡市共進会等の様子
- ・ 種雄牛候補牛の調査に関わる技術員の様子
- ・ 現場後代検定成績に接する技術員の姿
- ・ 平成20年度から取り組んでいる県支部主催の『若手技術員研修会』の様子